

### 付録3 新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について（電気通信大学）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

#### 大学回答欄

< A. 授業の実施について >

①令和2年度前学期授業は5月7日から遠隔により順次実施し、後学期（10月から）以降は遠隔及び対面により実施。

< B. 授業の方法等について >

##### ●学生向けの対応

①全学生を対象に、遠隔授業の受講準備を、e-ラーニングを使って課題をクリアしながら行う「UEC チャレンジ」を実施。

②全学生を対象に「遠隔授業ガイダンス」を実施。

③全学生を対象に、遠隔授業の受講に必要な機器類や通信環境の用意が困難な学生に対し、ノートPC等の貸出を実施（ノートPC1名、Wi-fiルーター6名）。

④学域1年生を12クラスに分け、各クラス2名の上級生を配置し、様々な学習相談に対応できる体制を整備。

⑤対面授業の開始に際し「対面授業に関するガイドライン【学生用】」、「教室、実験室、演習室の使い方に関するガイドライン」および「登学に不安を抱える学生に対するガイドライン」を周知。

##### ●教員向けの対応

⑥全教員を対象に、遠隔授業の円滑な実施のため「遠隔授業説明会」を実施。

⑦円滑な遠隔授業への移行を目的として、個々の授業の適性に応じて選択できるよう、複数のオンライン授業のモデルケースを全教員に提示。

⑧遠隔講義機材の操作補助等をサポートするため、教務補佐員を雇用（87名）。

⑨対面授業の開始に際し「対面授業に関するガイドライン【教員用】」および「教室、実験室、演習室の使い方に関するガイドライン」を周知。

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

#### 大学回答欄

< C. 学習支援について >

①令和2年11月アカデミックアドバイザーとして退職教員を採用し、欠席過多や成績不振の学生への個別連絡や修学相談に対応。

②令和2年4月新型コロナウイルス相談窓口として、修学上の悩み、心の悩み、健康に関する悩みなどのワンストップ窓口を設置。

< D. 生活支援について >

①新型コロナウイルス感染拡大の影響で修学継続の危機に立たされている学生に対する経済的な支援や感染拡大防止対策を行うべく、令和2年5月に電気通信大学基金に「コロナ禍から学生を守り救い支援する募金」を創設。

集まった資金を原資として（総額約1,300万円）、以下の支援を実施。

●新型コロナウイルス感染拡大の影響により生活支援が必要である学生及び留学生を対象とした「UEC緊急生活支援貸与金（10万円）」（無利子、返還免除制度あり）及び「UEC生活支援貸与金(20万円）」（授業料免除者は10万円、無利子、返還免除制度あり）について、学生へ貸与。

支援人数：129名（合計：4,650千円）、返還免除者数：123名

●令和3年1月には新たに「新型コロナウイルス感染症対策経済支援窓口」を設置し、前述の資金を活用して、必要な学生に対し、学食の食券（5,000円／1人当たり）を配付。

令和3年8月現在 支援人数：455名（合計：2,275千円）

②日本学生支援機構「学生支援緊急給付金事業」により、令和2年6月～7月に、保護者・学資負担者が住民税非課税世帯である学生には20万円、それ以外の学生には10万円を支給。

支援人数：655名（合計：73,800千円）

③日本学生支援機構の助成事業「新型コロナウイルス感染症対策助成金」を活用して、令和2年度前学期授業料全額免除者で「学生支援緊急給付金」の給付を受けた者に対して、一人当たり1万円分のクオカードを配付。

支援人数：87名（合計：870千円）